

パーシャルデンチャー補綴学講座

講座名	パーシャルデンチャー補綴学講座	
主任教授	田坂 彰規	
プログラム責任者名	田坂 彰規	
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称	日本歯科専門医機構認定 補綴歯科専門医 日本補綴歯科学会認定医	
プログラムの特色		
本プログラムは、歯科医師としての倫理観、あるべき態度や価値観を理解し、補綴治療に必要となる専門性の高い臨床技能と知識の習得を目標とする。1 歯欠損から1 歯残存までの多岐にわたる部分的な歯の欠損症例に対して、局部床義歯を用いて咬合回復を行うために必要となる顎口腔系全体を捉えた包括的な研修カリキュラムである。大学院生・臨床専門専修科生を問わず、入局後2年間の必須研修であり、将来的に日本歯科専門医機構認定補綴歯科専門医および日本補綴歯科学会認定医の取得を視野に入れた内容が組み込まれている。		
プログラムの内容(補綴専門医)		
入局後 1年目	大学院生	臨床専門専修科生・レジデント
	研究:研究テーマの決定・予備実験 臨床:基本術式の習得 簡単な症例への対応 臨床技能の研修: 印象採得(相互実習) 筋圧形成(相互実習) 局部床義歯製作(シミュレーション実習) 臨床教授による外来指導(月2回) 歯科技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 症例検討会(週1回) 英文抄読会(月1回) 非常勤講師による勉強会(随時)	臨床:基本術式の習得 簡単な症例への対応 臨床技能の研修: 印象採得(相互実習) 筋圧形成(相互実習) 局部床義歯製作(シミュレーション実習) 臨床教授による外来指導(月2回) 歯科技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 症例検討会(週1回) 英文抄読会(月1回) 非常勤講師による勉強会(随時)
2年目	研究:予備実験, 本実験開始 臨床:基本術式の習得 困難な症例への対応 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(月2回) 歯科技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本補綴歯科学会認定医申請資格取得	研究:臨床研究テーマの決定 臨床:基本術式の習得 困難な症例への対応 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(月2回) 歯科技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本補綴歯科学会認定医申請資格取得
3年目	研究:本実験, 学会発表 臨床:咬合の再構成が必要な症例への対応 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(随時) 歯科技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる	研究:データ収集 臨床:咬合の再構成が必要な症例への対応 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(随時) 歯科技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる
4年目	研究:論文作成, 学位申請	研究:データ収集・学会発表 臨床:症例の蓄積 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(随時) 歯科技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる

パーシャルデンチャー補綴学講座

5年目	研究:継続研究の開始 臨床:症例の蓄積 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(随時) 歯科技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本歯科専門医機構認定 補綴歯科専門医申請	研究:論文作成 臨床:症例の蓄積 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(随時) 歯科技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本歯科専門医機構認定 補綴歯科専門医申請
6年目以降	研究:継続研究 臨床:症例の蓄積 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(随時) 歯科技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本歯科専門医機構認定 補綴歯科専門医	研究:継続研究の開始 臨床:症例の蓄積 臨床技能の研修: 臨床教授による外来指導(随時) 歯科技工士による技術指導(随時) 知識の研修: 1年目に準じる 日本歯科専門医機構認定 補綴歯科専門医

- 本務教員で認定医等の有資格者
(指導医・専門医・認定医等の複数の資格の場合には最上位の資格のみを記載)

日本歯科専門医機構認定 補綴歯科専門医 専門医:田坂彰規	日本補綴歯科学会 指導医:田坂彰規
日本口腔インプラント学会 専修医:田坂彰規	日本老年歯科医学会 指導医:田坂彰規
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士:大平真理子	専門医:大平真理子 摂食機能専門歯科医師:大平真理子